

令和6年度

事業報告書

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

社会福祉法人 飛翔

名古屋市天白区池場二丁目 1005 番地

【法人事務局】

1 事業報告概要

経理面において、てふてふ・てふてふホームにて報酬改定の影響や利用者数・利用率の減少があり、令和5年度と比べ収入が減額となりました。

一方で、相談支援事業所てふてふでは支出を抑えることで、収益が増額いたしました。

人件費率は法人全体で72.4%となっており、令和5年度の70.3%と比べると2.1%増となっております。これは令和5年度と比べ、人件費・収入額共に減額となっておりますが、人件費の減少額を収入の減少額が上回ったためです。

事業計画で立てた中長期的な計画の見直しについては、実行する事ができず令和7年度以降への持ち越しとなりました。

2 実施状況

(1) 委員会等の実施・報告

・権利擁護・虐待防止委員会

4か月に1度、会議を行い、12月には法人全体での研修会を行いました。

虐待防止のためにも職員ひとりひとりが障害に対する知識が必要であるという観点から、りんくす名古屋より講師を招き、「発達障害」についての研修を行いました。

・感染対策委員会

感染対策委員会を発足し、4か月に1度、会議を行っております。

研修・訓練を各事業所において年に各2回行う必要があります。まずは、委員会を通し、これらの研修・訓練を安定して行える地盤作りをめざして活動しております。

・事業継続計画の策定

自然災害・感染対策における事業継続計画（BCP）を法人全体で策定しました。

随時、周知の為の研修を各事業所にて開催しております。

(2) 人事関係

・昨年度より、2名の職員が休職されておりましたが、1名の退職となり、1名は7月に復職をされました。復職された職員の休職については労働災害の申請が労働基準監督署より認められ、本件は労働災害における休職となりました。

・労働災害に認められる要因となったのは、当該職員に対しての長時間労働が慢性化していたことが主な要因です。これを受け、法人としても当該職員に限らず、長時間労働が発生しない環境を整えると共に、再発防止に努めてまいります。

・職員数としては、てふてふホームのパート職員の不足が続いております。

相談支援事業所てふてふでも、相談支援専門員の補充が継続しての課題となっております。

3 理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

開催日	参加者	議題
5月25日	理事 4名 監事 2名	第1号議案 てふてふ管理者の退任及び任命 第2号議案 令和5年度事業報告 第3号議案 令和5年度決算報告 第4号議案 給与規定改定 第5号議案 パート就業規則改定

		第6号議案 再雇用職員就業規則改定 第7号議案 役員報酬規程改定 第8号議案 評議委員会開催
10月24日	理事 6名 監事 1名	報告事項 理事長より4月～9月度の事業報告 第1号議案 相談支援事業所てふてふ運営規程改定 第2号議案 経理規程改定 第3号議案 高柳ホームの令和6年度末での閉所について
翌3月1日	理事 5名 監事 2名	第1号議案 てふてふ管理者の退任及び任命 第2号議案 経理規程改定 第3号議案 慶弔規程改定 第4号議案 令和6年度補正予算 第5号議案 令和7年度事業計画案 第6号議案 令和7年度当初予算案 第7号議案 てふてふ運営規程改定 第8号議案 てふてふホーム(共同生活援助)運営規程改定 第9号議案 てふてふホーム(短期入所)運営規程改定 第10号議案 就業規則及びパート職員就業規則改定 第11号議案 役員賠償保険の契約更新について

(2) 評議員会

開催日		議題
6月15日	評議員 6名	第1号議案 令和5年度事業報告 第2号議案 令和5年度決算報告 第3号議案 役員報酬規程改定
翌3月22日	評議員 6名	第1号議案 令和6年度第一回補正予算 第2号議案 令和7年度事業計画 第3号議案 令和7年度当初予算

(3) 監事監査…令和6年5月15日(月)令和5年度事業報告及び決算の監査を監事2名により実施され、適正との報告が行われました。

4 職員参加研修

(1) 施設外研修

研修日	研修名	参加者
10月22日	救急救命研修	松波

(2) 法人・施設内研修

研修日	研修名	参加者
6月5日	施設内研修(障害福祉と法人理念について)	松波
6月15日	施設内研修(支援員の役割について)	松波
7月20日	施設内研修(自閉スペクトラム症について)	松波
12月4日	虐待防止研修(発達障害)	松波・松波

【てふてふ】

1 事業報告概要

- ・令和6年10月より利用者が1名退所され、令和7年1月に1名の入所がありました。また、現利用者の内2名の方は、就労継続支援B型との併用利用に移行されました。
- ・特別支援学校からの見学や実習にみえる方は、前年度に比べて増えましたが、てふてふの利用契約までには至りませんでした。
- ・自主製品の販売の機会として、従来の徳林寺や梅まつりでの販売参加以外に、福祉の店に初めて出展をしました。
- ・支援面においては強度行動障害の状態にある利用者2名に対して、より専門的な支援を行うことで重度障害者支援加算を算定する事ができました。この加算の算定により約180万円の収入がありました。

2 開所状況 開所日数 258日 利用者延べ人数 6,021人 平均利用者数 23.3人 稼働率 58%

3 利用者数の変遷 (令和6年度末時点) 28人

年度末	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
男	11	13	14	14	14	13	12	13
女	19	17	18	19	19	17	16	15
合計	30	30	32	33	33	30	28	28

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0	4	3	2	4	0	0	12
女	0	5	2	4	2	1	1	16
合計	0	9	5	6	6	1	1	28

支援区分	3	4	5	6	合計
男	2	3	6	2	12
女	5	3	7	0	16
合計	7	6	13	2	28

平均支援区分 4.3

4 職員体制 (令和6年度末時点)

管理者	常勤・兼務	1名				
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名				
生活支援員	常勤・専従	3名	パート・専従	5名	パート・兼務	1名
看護師					パート・兼務	1名
医師			嘱託医	1名		

年度内において、パート職員1名の入職がありました。

5 加算の算定

加算名	備考
福祉専門職員配置加算ⅠおよびⅢ	社会福祉士などの有資格者 2名配置 常勤職員のうち、在職年数が3年以上の割合 100%
重度障害者支援加算Ⅱ及びⅢ	強度行動障害支援者養成研修修了者 実践研修：1名 基礎研修：4名
処遇改善加算Ⅰ	

6 生産活動

(1) 自主製品作りの販売・下請けの収益

単位：円

内容	令和5年度	令和6年度
自主製品売上（クッキー、刺しゅう雑巾他）	684,252 円	904,441 円
下請け（輸入雑貨検品、バネ検品他）	567,675 円	534,269 円
リサイクル品販売	859,748 円	583,760 円
合計	2,111,675 円	2,022,470 円

※＜販売先＞ ・天白区役所（毎週水曜日 10～12 時）
 ・大根店（毎週火・木・金曜日 10～12 時）

(2) 工賃支給額

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
工賃(28名分)	1,104,270 円	1,616,592 円	1,690,850 円	1,502,980 円
一人月平均	2,488 円	3,699 円	4,154 円	3,873 円

7 行事

月	内 容		
	主な行事・販売	グループ外出	その他の行事
4	徳林寺花まつり（販売） イオン外出（行事の日）		
5	昭和日常博物館見学（行事の日）	名古屋城・大須商店街	防災訓練
6	オアシスパーク散策（行事の日）	魚太郎でバーベキュー	健康診断
7		映画館（電車）	
8	なごやめし（延期） ⇒イオン外出へ変更（行事の日）		夏季休業
9	バス旅行【明宝ハム工場・郡上八幡散策】 ショッピングモール外出（行事の日）		防災訓練
10	天白区民まつり（販売） →選挙により中止	犬山城・城下町散策	
11	感謝祭 福祉と映画のつどい（販売）	千代保稲荷散策	インフルエンザ 予防接種
12	大須商店街散策（行事の日） 年末年始休業	おやつタウン	防災訓練 冬季休業
1	初詣 新年会（Zenzero 神宮店）	新幹線（浜松）	冬季休業
2	福祉の店に出店（委託販売） カラオケ・ボウリング（行事の日）	いちご狩り	防災訓練
3	農業センター梅まつり（販売） なごやめし外出（行事の日）		

8 職員参加研修

(1) 施設外研修

日付	研修名	参加者
4月25日	愛知県社会福祉協議会 総会	鈴木
5月29日	名古屋市障害者連絡協議会 総会	鈴木
6月27・28日	強度行動障害者支援者養成研修（基礎研修）	鈴木
7月29日	施設見学&情報交換会ツアー（むもん福祉会）	星野
7月30日	新任職員基礎研修（障害）	寺島
8月30日	発達障害研修（応用編）	星野
9月17日	ファシリテーション研修	星野
9月25日	介護記録研修	塚田
10月15日	人権・倫理研修（管理者向け）	鈴木
10月20日・21日	甲種防火管理新規講習及び防災管理新規講習を合わせて実施する研修【併】	鈴木
10月28日	タイムマネジメント研修	塚田
10月30日	薬学基礎知識研修	星野
11月11日	対人援助技術研修	塚田
11月18日	労務管理研修	鈴木
11月20日	障害児基礎研修	星野
11月21日	虐待防止研修	鈴木
11月21日	知的障害研修	寺島
11月26日	意思決定支援研修 ※県協会役員として参加	鈴木
12月23日	ターミナルケア研修	塚田
12月27日	困難事例研修 ※県協会役員として参加	鈴木
1月10日・24日	ソーシャルワーク研修	星野
1月31日	重症心身障害児支援研修	塚田
2月6日	コミュニケーション研修	塚田
2月18日	身体拘束につながらない支援を学ぶ研修	星野
2月25日	高齢障害者研修 ※県協会役員として参加	鈴木
2月27日	権利擁護研修	水野

(2) 法人・施設内研修

日付	研修名	参加者
6月5日	施設内研修（障害福祉と法人理念について）	全職員
6月15日	施設内研修（支援員の役割について）	全職員
7月20日	施設内研修（自閉スペクトラム症について）	全職員
8月10日	身体拘束適正化研修	全職員
12月4日	虐待防止研修（発達障害）	全職員
3月15日	BCP研修（自然災害）	全職員

【相談支援事業所でふてふ】

1 事業報告概要

- 令和6年度当初計画されていた新規5名に対し、9名の受け入れを行いました。事業所の天白区に移転に伴って、その周知に努めました。
- 職員の健康管理に努め、身体への異変に対しても受診を促すことで、早期発見・治療へとつなげることが出来ました。
- 令和6年8月8日に実地指導を受けました。指導内容として①前職員の変更の届け出を行うこと、②業務継続計画の作成及び研修・訓練を実施すること、③感染症委員会の開催及び研修・訓練の実施の3件を口頭にて指導いただき、減算などに至る指導はありませんでした。
- 令和6年10月より「行動障害支援体制」加算を申請、令和6年12月より「相談機能強化型IV」加算を申請しました。
- 令和6年4月から実施された報酬改定について研鑽を積み、確実な業務を行いました。天白区、名東区の相談部会に於いて、当事業所で作成した加算一覧表を共有させていただきました。利用者には変更点の説明を行いました。
- 地域移行で担当していたご利用者は大府市の日中支援型グループホームに決まり、相談員はその地域の事業所に引継ぎを行いました。

2 特定相談支援数（者・児）

令和6年度相談件数 99件・30件（内：新規相談件数 4件・5件）

主な障害（重複を含む）			居住区			利用されるサービス （重複を含む）	
	者	児		者	児		
精神	48人	15人	天白区	61人	12人	生活介護	31人
難病	2人	0人	名東区	18人	18人	（内てふてふ）	19人
知的	47人	14人	緑区	9人	0人	共同生活援助	29人
身体	9人	2人	昭和区	4人	0人	（内てふてふ）	6人
			その他	7人	0人	短期入所	26人
						（内てふてふ）	3人

3 一般相談支援（移行）件数 1件（R7.1月末終了）

主な障害		居住区		相談後の状況	
精神	1	名東区	1	グループホームに入居	1

（定着）件数 1件（R6.6月末終了）

主な障害		居住区	
知的	1	天白区	1

4 職員体制 常勤2名

- 相談専門員2名（内1名は管理者兼務）

5 体制加算の算定

加算名	備考
要医療児者支援体制加算	医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了者を配置
精神障害者支援体制加算	精神障害者研修修了者を配置
行動障害支援体制加算	強度行動障害支援者養成研修（実践）修了者を配置 令和6年10月より
相談支援機能強化型体制	相談支援従業者現任研修修了者の配置等 令和6年12月より

6 職員参加研修

(1) 施設外研修

日付	研修名	参加者名
6月14日	教育と福祉の連携	高井
6月20日	高次脳機能障害の基礎知識	高井
7月12日	令和6年度精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業において行われる精神障害者の地域移行関係職員に対する研修	香月
8月15日	半側空間無視	高井
8月4～6日	強度行動障害基礎・実践研修(行動障害支援対象加算)	高井
9月13日	2024年度天白区地域包括ケア研修会	香月
9月18日	BCP研修(被災地の状況と相談支援)	高井
9月20日	カスタマーハラスメント勉強会(相談援助研修)	高井
10月17日	高次脳機能障害者の就労前の認知訓練	高井
11月1日	居宅体験支援モデル事業について	高井
11月8日	感染症対策研修	香月
11月23日	こころのサポーター養成研修・ゲートキーパー初級編	高井
11月28日	ハラスメント研修権利擁護研修	香月
1月17日	ゲートキーパー養成研修中級編	高井
1月28日	医療基礎知識研修	香月
1月31日	重症心身障害児研修医療ケア児者研修	高井
2月5日	ゲートキーパー養成研修上級編	高井
2月7日	障害福祉サービス運営基準・報酬に関する知識研修	高井
2月14日	障害児者の地域生活支援と家族支援	香月
2月17日	障害児者の地域生活支援と家族支援	高井
2月22日	令和6年度名古屋市医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修	高井

(2) 法人・施設内研修

日付	研修名	参加者名
8月16日	BCP(避難場所・備蓄品確認)	高井・香月
12月4日	虐待防止研修(発達障害)	高井・香月

※名東区、天白区自立支援協議会に参加

【てふてふホーム】

●共同生活援助●

1 事業報告概要

- ・年度の途中で1名退所されました。日中に通われている事業所の近くにあるグループホームへ転居されました。これにより、利用者数が13名となりました
- ・パピヨン高柳は、継続が難しく、年度末に終了しました。
- ・現在、空室がパピヨン藤が丘1床、パピヨン豊が丘2床で引き続き募集を行なっております。
※パピヨン藤が丘の空室は、令和7年4月に体験利用の予定が入っています。
- ・携帯電話を利用者全員が持ち、夜間や緊急時にやり取りができるようになりました。
- ・世話人の応募を行っており、2名の方が定着に至りました。現在も、朝の世話人が不足しており、生活支援員も協力しているところです。今後も引き続き募集を行なっていきます。

2 開所状況

平均稼働率（延べ利用日数/利用可能日数/定員）67.9%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
利用者数の変遷 (定員19名)	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13	/
内訳	藤が丘	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	豊が丘	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	
	高柳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
延べ利用日数	396	396	403	389	374	371	390	379	377	363	350	391	4,579
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365

3 利用者の状況（令和6年度末時点）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	合計
男性	0	3	0	2	0	1	6名
女性	0	3	0	2	1	1	7名
合計	0	6	0	4	1	1	13名

支援区分	1	2	3	4	5	6	合計(人)
男性		1	3	1	1		6名
女性		1	4	1	1		7名
合計	0	2	7	2	2	1	13名

4 職員体制（令和6年度末時点）

管理者	常勤・兼務	1名		
サービス管理責任者	常勤・兼務	1名		
生活支援員(世話人兼務)	常勤・兼務	4名		
世話人	常勤・兼務	2名	非常勤	9名

5 加算の算定

加算名	備考
福祉専門職員配置加算Ⅰ	社会福祉士等の有資格者 2名配置
医療連携体制加算Ⅶ	福友病院訪問看護ステーションと連携、定期的な問診と救急体制を確立
人員配置体制加算(12:1)	令和6年10月より(30:1)から変更
夜間支援体制加算Ⅲ	常時電話による緊急連絡体制の確立、必要に応じて宿直の配置
処遇改善加算Ⅰ	

6 主な行事

月	行事内容
5月	潮干狩り
11月	てふてふ感謝祭に参加・名古屋市障害者スポーツ大会(ボウリング)
12月	クリスマス会&忘年会
1月	新年会
3月	カローリング大会

7 職員研修

(1) 施設外研修

日付	研修名	参加者
7月18日	精神障害の基礎知識・関わり方と当事者・家族の思い	柴原
8月28日	普通救命研修	永井
9月30日	アンガーマネジメント研修	柴原
10月11日	障がい者グループホーム管理者等研修	若林
11月15日	人権と倫理	伊藤
2月13日	防災研修	若林
2月18日	身体拘束につながらない支援を学ぶ研修	柴原

(2) 法人・施設内研修

日付	研修名	参加者
12月4日	虐待防止研修(発達障害)	全職員
1月24日	BCP(自然災害について)	全職員
随時	感染症対策研修(ビデオ視聴)	全職員

●短期入所●

1 事業報告概要

職員体制の整わない状況があり、利用者受け入れが難し期間がつづき、稼働率が低迷しました。夜間での対応が必要な利用者に対しては、しばらく受ける事ができない状況となっています。

2 開所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計人
延べ利用者数	0	0	0	0	1	1	1	2	2	3	1	3	14人
延べ利用日数	0	0	0	0	2	2	2	4	4	9	2	8	33日
利用可能日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365日

